

## 日米知事会議について（報告）

全国知事会事務局

### 1 これまでの経緯

#### ① 過去の日米知事会議

- ・ 1962 年の日本開催を機に、日米交互で定期的開催（1975 年まで毎年、以降隔年）。
- ・ 1995 年に米国側知事訪日により第 23 回交流。
- ・ 1997 年は日本側知事訪米の順番だったが米国側の都合で中止。以後、再開されず現在に至る。

#### ②再開を目指した交渉

- ・ 2001 年、土屋会長（当時）より全米知事会副会長に再開申入れ
- ・ 2003 年、在日米国大使館から全米知事会長が再開の意向を持っている旨の伝達を受け、梶原会長（当時）より全米知事会長との面談を打診
- ・ 2014 年、山田会長より全米知事会長に再開を提案する書簡送付（6 月、11 月）
- ・ 2015 年 3 月、山田会長の依頼により、佐々江駐米大使から全米知事会副会長（ユタ州知事）に再開への協力を要請
- ・ 2015 年 4 月、山田会長は、訪日中に表敬訪問したユタ州政府部長に、全米知事会長（ユタ州知事）への再開希望の伝達を依頼。

## 2 全米知事会議への参加と結果

(1)全国知事会は、今月 23 日から 25 日までウェストバージニア州ホワイト・サルファー・スプリングスにて開催された全米知事会議に、山田会長の代理として平井副会長を派遣。

(2)日米知事会議の再開に向けた協議は以下の通り。

①24 日(現地時間)、全米知事会副会長(現在、会長に昇格)ユタ州ハバート知事主催により、日米知事会議再開の是非等について議論する協議が行われた。米国側は同知事のほかバージニア州知事(現在、副会長に就任)、アイオワ州知事、ミズーリ州知事、アリゾナ州知事、日本側は平井副会長、全国知事会事務局のほか在米日本大使館、JETRO ニューヨーク事務所、CLAIR ニューヨーク事務所が参加。

②平井副会長は、民主主義などの価値観を共有する両国の知事レベルの対話が 20 年間にわたり中断していることは残念なこととして日米知事会議の再開を提案。米国側からは、日米知事会議を再開させる場合、両国間貿易・投資関係を取り上げ、ビジネスの要素を取り込むこと、さらにビジネス・リーダーを同行させることに極めて高い関心が示された。

③日米知事会議を再開すべきという認識は共有され、来夏にアイオワ州デモインで開催される全米知事会議初日(7月14日)に日本側知事が参加するなどの方式で再開を目指すことを軸に、事務的に詳細を詰めることで合意に至った。最後には、当時会長のコロラド州ヒッケンルーパー知事も駆けつけ、再開に賛意を示した。

④このほか平井副会長は前会長オクラホマ州知事、アラスカ州知事、ワイオミング州知事、ニューヨーク州知事特別顧問とも個別に会

談し、日米知事会議再開への協力を要請した。

### 3 今後の対応方針

来年度中の日米知事会議再開を目指して、今後、全米知事会と精力的に開催期日、開催地、協議事項について詳細を詰め、具体的な準備を進める。

日米知事会議は日米双方で定期的を開催し、地域経済の振興や地方行政の向上などに資するよう、日米両知事会が国境を越えた交流、協力を展開していく場とすることを基本として、全米知事会と協議していく。